

多機能型事業所

平成28年度 事業報告

(1) 開所について

就労継続支援B型

年間開所日数 248 日 定員 20 名 (15 名) 平均利用者数 14.8 人

- ・ 昨年同期間と比較して開所日数が減った。(参加希望が少なく、特別開所が減少)
- ・ 生活介護への移行者が 11 名、退所者が 1 名により、利用が減少。
- ・ 精神障碍による利用が増える傾向にある。(相談、見学、実習)

生活介護

年間開所日数 255 日 定員 10 名 (現員 11 名) 平均利用者数 7.4 人

- ・ 利用者 (本人、保護者) より、余暇支援の要望が多い為、土曜日に開所を計画するが、参加希望者が少なく実施できないことが多かった。

(2) 利用者について

多機能型事業所 (就労継続支援B型 15 名) (生活介護 11 名) 定員 30 名 現員 26 名

就労継続支援B型

- ・ 11 月より、新規利用者 1 名
- ・ 定期的な通所が困難な状況となり、退所、利用者 2 名

生活介護

- ・ 12 月時点で事業所内、移行希望者の移行がすべて完了する。
- ・ 利用人数に応じたスペースは確保できず、今後の対応を検討する。
- ・ 適切な支援計画が想定できないまま移行を実施、その後に支援に影響。
(急激な増加に、対応が追い付かず支援が不十分であった。)

(3) 作業について

就労継続支援B型 (平均工賃、実績 11,745 円)

工賃アップに向けて、下請け作業、施設外作業、喫茶営業へ取り組む。

(下請け作業)

- ・ 主力協力事業所
長峰製茶、シーラック、丸幸産業、イケガヤ、山田園、不安定ではあるが、ほぼ継続できている。
- ・ 焼津市同事業所のネットワークによる共同での請負に積極的に取り組む。

(施設外作業)

- ・ エコプラザ (ヒバリヤ小土店、三ツ合店) による資源回収の継続。
- ・ 除草作業、茶畑年間契約による管理、静岡労働局、焼津警察署の除草作業。

(喫茶野いちごの営業)

- ・ 売上げ実績は、月度により波はあるが、弁当注文、客数の減少で昨年よりやや下がっている。
- ・ 出張販売、毎週金曜日、昼食時に、特別支援学校分校、市役所 (アトレ) での販売を継続。
- ・ ほほえみ祭り、ふれあい広場等に積極的に取り組み地域交流行っている。
- ・ 福祉会館での会議等による飲食の注文が年々減少している。
- ・ 館内の各事業所の利用が増えている。

(自主製品)

- ・コーヒー、紅茶の生産、販売は継続。販路として、催事などへの積極的な参加、各協議会景品等の受注に積極的に取り組む。

静岡県作業所連合会「ふれあいレクリエーション」参加賞 遊技業組合端玉交換景品

- ・静岡県作業所連合会「みんなのお店、わ」静岡県総合社会福祉会館シズウエル1階「ともの店」の販売にも継続して力を入れる。

店舗の販促に頼らず、独自でも季節行事に合わせた販促手段等を検討する。

生活介護

工賃実績 5,223 円

- ・利用者本人の意向に沿って、作業を中心の日課で活動。
工賃分配支給の為、就労継続支援B型との下請け契約を結び対応する。
- ・作業工賃を確保するためには、職員の負担が大きく継続しての支給は困難。

(4) 就労支援について

- ・就労意向のある利用者を中心に、不定期に支援を行なう。
対象者のハローワークへの求職登録、ハローワーク担当者との面談、相談により企業などの情報収集を行なう。

(5) 年間行事

- ・社会体験活動「日帰りバス旅行」NHK名古屋放送局、アサヒビール名古屋工場
- ・ふれあい広場、ほほえみ祭り、喫茶を中心に出店（サンドイッチ、コーヒー）
- ・ふれあいレクリエーションに参加
- ・共同募金助成事業（クリスマス会、新年顔合わせボウリング大会）

(6) 職員研修

施設内研修

- ・各事業連絡会を月1~2回開催、全体連絡会を月1回開催
- ・連絡会にて、月度計画の確認、行事等の反省、利用者の状況、施設外の各研修、会議等の報告や意見交換を行なっている。
- ・全体で行う事業所内研修（支援員、指導員による意見交換）の場を設ける。

外部研修

職業指導員、生活支援員を中心に積極的に参加する。

- ・オールしずおかベストコミュニティ
- ・静岡県作業所連合会等
- ・虐待防止リーダーを配置する。

(7) 防災について

- ・防災・避難訓練(月1回)／防災設備点検を実施。